

基本目標Ⅰ 男女共同参画社会を目指す意識づくり

指標	前計画 5 年目 (現計画策定年)	現計画 1 年目	現計画 2 年目	現計画 3 年目	現計画 4 年目 現状値	目標値	目標値に対する考察		担当課
	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和 2 年度 (2020年度)	令和 3 年度 (2021年度)	令和 4 年度 (2022年度)	令和 5 年度 (2023年度)	令和 4 (2022)年度までの実績内容 また、問題点・改善点・良かった点・工夫した点など	目標値の達成に向けた令和 5 (2023)年度以降 の考え方	
市民を対象とした男女共同参画に関する研修会、講演会の開催数	6回	6回	7回	10回	13回	8回	令和4(2022)年度は、男女共同参画ステップアップセミナーとして、「働く女性応援講座」、「男性でチャレンジ」の2講座を開催し、男女共同参画交流ネット登録団体が自主的に行う男女共同参画に関する啓発講座の講師料の補助を4件行い、東海学園大学と共催し、これから社会の一員となる大学生へ向け、性別にかかわらず誰もが活躍できる男女共同参画社会の実現の推進について啓発事業を1事業実施し、市民向け・高校生向けL G B T基礎講座を2件開催しました。 男女共同参画川柳の入賞作品は、イオン三好店、市役所1階2階吹抜け階段で展示、市役所1階やおかよし交流センター、さんさんバスの電子掲示板、図書館学習交流プラザ「サンライブ」内シティプロモーションモニターへの掲示、市内公共施設でのポスター掲示等、市内の様々な場所・手法を用いて啓発活動を行いました。	令和 5 (2023) 年度以降も令和 4 (2022) 年度の事業を引き続き行うと共に、令和 4 (2022) 年度に作成をしました小学生向け男女共同参画リーフレットを活かした出張授業を開催していきます。	協働推進課

男女共同参画啓発物の配布数	814部	799部	850部	1695部	4250部	1,000部	令和元(2019)年度までは、啓発物として男女共同参画川柳を載せたクリアファイルを作成し、市内中学校3年生や男女共同参画に関する研修会、講習会で配布していました。 令和2(2020)年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により男女共同参画川柳の募集を中止したため、クリアファイルの作成はありませんでしたが、成人式の記念品の中にみよし男女共同参画プランパートナーの概要版を加えてもらい、成人者への男女共同参画の意識啓発を行いました。 令和3(2021)年度は、成人式でのプランの概要版配布は継続し、男女共同参画川柳を掲載したクリアファイルの配布を再開し、新たに男女共同参画川柳を掲載したポスターを市内小中学校、行政区事務所や公共施設に配布し掲示してもらうことで広く男女共同参画の意識啓発を行いました。 令和4(2022)年度は、前年度から継続し、男女共同参画川柳を掲載したクリアファイルの配布とポスターを市内小中学校、三好高校、行政区事務所や公共施設に配布し掲示を行いました。 また、新成人に対し、パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度のチラシを成人式で配布するとともに、小学生向け男女共同参画リーフレットの作成及び配布、市民向けLGBTQ冊子の作成を行いました。	・令和5(2023)年度は、成人式記念品での男女パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度のチラシ配布を継続します。 また、男女共同参画川柳・標語の啓発物配布も継続して行いますが、中学生への啓発物配布はタブレット端末を用いたデータでの配布を行う等、資源の削減に努めます。 ・上記に加え、令和5(2023)年度は、小学生向け男女共同参画啓発リーフレットを出張授業にて配布、また市民向けLGBTQ冊子を市内小学校の就学前健診にて保護者向けに配布し、同時に簡易な説明を行います。 ・また、名古屋レインボープライド2023に参加し、パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度のチラシやLGBTQ冊子の配布行う等、性の多様性への理解促進を目指します。 上記の様々な視点による啓発物の配布により男女共同参画への意識の醸成を図っていきます。	協働推進課
性の多様性に関する研修会、講演会の開催数	1回	2回	1回	2回	4回	2回	令和元(2019)年度は、市職員向け研修会を1回、男女共同参画交流ネット団体からスキルアップ講演会でLGBTを学びたいとの依頼があり講演会を開催しました。 令和2(2020)年度は、市職員向け研修会を1回開催しました。 令和3(2021)年度は、市職員向け研修会を1回開催するのに加えて、市民向けLGBT講習会を開催しました。 令和4(2022)年度は、市職員向け研修会を2回(講座形式、グループワーク形式)市民向けLGBT基礎講座を1回、高校生向けLGBT基礎講座を1回開催しました。	・令和5(2023)年度は、引き続き講義形式であるLGBT基礎講座を市民向け、高校生向け、市職員向けに開催します。 また、市職員向け研修はグループワーク形式の研修も引き続き開催を予定しています。	協働推進課

基本目標Ⅱ 男女ともに多様な選択をできる環境づくり

指標	前計画 5 年目 (現計画策定年)	現計画 1 年目	現計画 2 年目	現計画 3 年目	現計画 4 年目 現状値	目標値	目標値に対する考察		担当課
	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和 2 年度 (2020年度)	令和 3 年度 (2021年度)	令和 4 年度 (2022年度)	令和 5 年度 (2023年度)	令和 4 (2022)年度までの実績内容 また、問題点・改善点・良かった点・工夫した点など	目標値の達成に向けた令和 5 (2023)年度以降の考え方	
行政区役員に占める女性の割合	12.3%	15.7%	19.7%	17.3%	13.1%	20%	各行政区に対し、男女共同参画について啓発を行い、行政区役員に占める女性の割合が向上するように努めました。	各行政区に対し、男女共同参画について啓発を行い、行政区役員に占める女性の割合が向上するように努めます。	協働推進課
各種審議会の委員の構成に占める女性の割合	30%	29.9%	31.7%	29.9%	33.9%	35%	男女共同参画に関する研修において、男女差のない委員の積極的な選任について学びを深め、各課で選任される各種審議会委員の選任について、女性委員の登用率の向上を図るように努めました。	今後も継続して、男女共同参画に関する研修において、男女差のない委員の積極的な選任について学びを深め、各課で選任される各種審議会委員の選任について、女性委員の登用率の向上を図るように努めます。	協働推進課
多文化共生ボランティア登録者数	43人	45人	51人	48人	43人	50人	日本語ボランティア入門講座は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和 2 (2020)年度は春講座を中止、令和 3 (2021)年度、令和 4 (2022)は例年通りの年 2 回(春・秋)開催できました。 日本語ボランティアスキルアップ研修も同様の影響により、令和 2 (2020)年度は外部講師を招かずにボランティア自らでの研修開催、令和 3 (2021)年度、令和 4 (2022)年度は外部講師を招いて研修を開催することができました。 外国人向け日本語教室も同様の影響により、令和 2 (2023)年度は 4, 5 月、令和 3 (2021)年度は 2, 3 月が休講となりましたが、令和 4 (2022)年度は通年を通して開催することができました。	今後も継続して、年 2 回(春・秋)の日本語ボランティア入門講座、外部講師を招いての日本語ボランティアスキルアップ研修を開催し、また、日本語教室ボランティア費用弁償を行うことで、多文化共生ボランティア登録者数の向上に努めます。	協働推進課
保育園における待機児童数	21人	19人	0人	0人	0人	0人	定員の見直し等により、令和 5 (2023)年度から乳児定員枠を46人増員することができ、保育環境の充実を図ることができました。	令和 5 (2023)年度以降も引き続き、多様な保育需要に対応できるよう、小規模保育事業所の認可や民間保育所への移管、定員の見直し等の保育環境の充実を図っていきます。	保育課
親子教室の参加者数	3,152組	2,634組	1,365組	1,063組	1,485組	3,000組	未就園児とその保護者を対象に、地域子育て支援センターで、親子ルーム（わくわくルーム（2歳児）、ぴよちゃんルーム（1歳児）、あかちゃんルーム（0歳児））を各ルーム年10回開催しました。また、親育て子育ての場として、親子ピクス等の育児講座を26回開催しました。新型コロナウイルス感染症拡大により中止となった講座もありますが、感染防止対策をして開催することができました。	令和 5 (2023)年度以降も引き続き、未就園児とその保護者を対象に、地域子育て支援センターで、親子ルーム（わくわくルーム（2歳児）、ぴよちゃんルーム（1歳児）、あかちゃんルーム（0歳児））を各ルームを開催し、また、親育て子育ての場としての育児講座を開催し、保育環境の充実を図っていきます。	保育課

子育てふれあい広場の利用者数	67,376人	58,992人	30,291人	30,248人	34,506人	70,000人	乳児や幼児とその保護者が、遊具やおもちゃで自由に遊び、同世代の親子の交流・情報交換をするためのふれあい広場を開設しました。新型コロナウイルス感染症拡大により、ふれあい広場は時間制限や人数制限、消毒の徹底などの感染防止対策を行い開所し絵本の読み聞かせも中止していましたが6月下旬より再開しました。また、利用者からの身近な子育て相談に相談員が対応しました。	令和5（2023）年度以降も引き続き、乳児や幼児とその保護者が、遊具やおもちゃで自由に遊び、同世代の親子の交流・情報交換をするためのふれあい広場を開設し、利用者からの身近な子育て相談に対応していきます。	保育課
家族介護者交流事業（地域サロン）の延べ参加者数	129人	71人	59人	83人	71人	120人	認知症家族介護者交流会を12回開催し、延べ71人参加しました。	令和5（2023）年度以降も引き続き家族介護者交流事業を開催していきます。また、「さろんニュース」を発行し、在宅で介護する上で必要な情報を継続して提供していきます。	長寿介護課
パパママ教室の参加者数	216人	174人	63人	167人	222人	250人	毎月開催。 年間2回土曜日開催。	毎月開催。（年間12回のうち土曜日2回開催） マタニティコース4回 沐浴コース8回	こども相談課
「女性の活躍促進宣言」を宣言している市内企業数	3社	7社	7社	8社	12社	5社	「女性の活躍促進宣言」に関するリーフレットやチラシを公共施設やショッピングモールに掲示し、周知に努めました。	令和5年度以降も令和4年度と同様に、企業や市民向けに周知を行っていきます。	産業振興課
「あいち女性輝きカンパニー」の認証を受けた市内企業数	1社	3社	3社	2社	3社	1社	「あいち女性輝きカンパニー」に関するリーフレットやチラシを公共施設やショッピングモールに掲示し、周知に努めました。	令和5年度以降も令和4年度と同様に、企業や市民向けに周知を行っていきます。	産業振興課
就職支援セミナーの参加者数	100人	89人	22人	83人	98人	85人	令和4年度は、一般・女性・若者・高齢者向けに「女性が活躍しているお仕事」「感情を整えるメンタルコントロール」「シニア世代をどう生きるか？」「職務経歴書・履歴書の作成のコツ！」などのテーマで合計12回のセミナーを実施し、合計98人（女性78人）の方が参加しました。	令和5年度は、若者・女性・高齢者・一般向けのセミナーを10回を目標に開催する予定です。今後におきましても、参加者の再就職の促進を図るため、総合的な就労支援サービスを実施していきます。	産業振興課

基本目標Ⅲ 健康で安心して暮らすための基盤づくり

指標	前計画 5 年目 (現計画策定年)	現計画 1 年目	現計画 2 年目	現計画 3 年目	現計画 4 年目 現状値	目標値	目標値に対する考察		担当課
	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和 2 年度 (2020年度)	令和 3 年度 (2021年度)	令和 4 年度 (2022年度)	令和 5 年度 (2023年度)	令和 4 (2022)年度までの実績内容 また、問題点・改善点・良かった点・工夫した点など	目標値の達成に向けた令和 5 (2023)年度以降 の考え方	
乳児家庭訪問の割合	95.2%	94.2%	92.7%	91.6%	91.6%	98%	生後4か月までの乳児家庭のアポイントを取って訪問した。相談内容により、助産師訪問を実施した。	生後4か月までの乳児家庭を全戸訪問できるように働きかける。	こども相談課
介護予防教室の参加者数	10,788人	10,369人	4,965人	5,568人	7,150人	11,500人	地域包括支援センターが支援しながら、市内16行政区において65歳以上を対象に介護予防教室を開催した。 令和 4 (2022)年度は新型コロナウイルス感染症対策を講じながら実施し、令和 3 (2021)の実績よりは延びたが、目標値には達しなかった。	地域包括支援センターが目標達成に向けて地域住民と協力する。 地域介護予防活動支援事業の講師謝礼の支払の変更したので、その制度変更を周知をするとともに、それを参加者の増加へつなげる。	長寿介護課
子宮頸がん検診受診率	8.1%	7.3%	6.0%	7.3%	8.2%	10%	20歳以上の女性で、偶数年になる人を対象に、問診、医師の診察、子宮頸部細胞診を実施した。市民病院で、子宮頸がん・乳がん・骨密度検診をセットにした、「レディース検診」を土曜日に2回開催した。	対象者に受診券を発送し、ホームページ等で啓発を図る。年度途中で、未受診者へ勧奨通知を発送する。	保険健康課
乳がん検診受診率	12.1%	13.6%	9.4%	11.5%	12.2%	15%	40歳以上の女性で、偶数年になる人を対象に、問診、乳房エックス線又は乳房超音波健診を実施した。市民病院で、子宮頸がん・乳がん・骨密度検診をセットにした、「レディース検診」を土曜日に3回開催した。	対象者に受診券を発送し、ホームページ等で啓発を図る。年度途中で、未受診者へ勧奨通知を発送する。	保険健康課
乳幼児（3・4か月、1歳6か月、3歳児）検診の受診率	97.6%	97.6%	97.5%	97%	97.2%	98%	対象の月齢及び年齢の乳幼児を対象に健康診査を実施し、発達状況の確認及び発達・育児相談を実施した。	対象者に案内葉書を送付し、受診勧奨を図る。	こども相談課

基本目標Ⅳ プランの総合的な推進体制づくり

指標	前計画 5 年目 (現計画策定年)	現計画 1 年目	現計画 2 年目	現計画 3 年目	現計画 4 年目 現状値	目標値	目標値に対する考察		担当課
	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和 2 年度 (2020年度)	令和 3 年度 (2021年度)	令和 4 年度 (2022年度)	令和 5 年度 (2023年度)	令和 4 (2022)年度までの実績内容 また、問題点・改善点・良かった点・工夫した点など	目標値の達成に向けた令和 5 (2023)年度以降の考え方	
市職員の人材育成のための研修を受けた人数	761人	808人	492人	780人	686人	830人	令和 3 (2021) 年度と比較して受講者は減少しましたが、敬遠されていたグループワーク等を実施し、研修受講者間の意見交換を積極的に行うことで研修効果の更なる向上を図りました。オンライン研修も引き続き実施し、研修を受講しやすい環境をつくりました。	職員研修計画に基づき研修を実施します。今年度より、組織活性化研修や組織運営能力向上研修等、新たな研修を導入し、職員のさらなる市政運営能力の向上を目指します。	人事課
市の管理職に占める女性の割合	18%	18%	18%	12%	11%	20%	令和 3 (2021) 年度は、部長級・次長級・課長級にそれぞれ 1 人ずつ、令和 4 (2022) 年度は部長級・次長級にそれぞれ 2 人ずつの女性職員を登用しました。	女性活躍推進法に基づく特別事業主行動計画に定める目標のうち、管理職に占める女性割合を高めていきます。	人事課